

「チャレンジクラス」 申合せ事項

- 1 新型コロナウイルス感染予防対策
 - (1) 新型コロナウイルス感染予防の一環として出場時間帯によって、入場者の入れ替えを行う。
 - (2) 競技実施時間帯 午前の部 9:30~12:00 (入館時間 8:30~10:30)
 - (3) 新型コロナウイルス感染予防対策の一環として、待機場所の分散や競技参加時間に合わせたの集合など各団体、個人での対応をとること。
 - (4) 新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みて、競技方法や招集方法等、運営に変更が生じる場合がある。
 - (5) 自身の競技終了後は、速やかに退館すること。
 - (6) 観覧席での応援については、新型コロナウイルス感染予防の一環として禁止とする。
 - (7) 体温が 37.5 度以上ある場合は、センターに入館できないため、大会事務局まで連絡すること。
 - (8) 会場に入場前に、必ずセンターの入館前検査を通してから入場すること。
 - (9) 当日は申込み結果に同封されているセルフチェックシートを事前に記載したものを持参し、提出すること。提出がない場合は、大会の出場は認めない。
 - (10) 館内では、選手、介助者ならびに関係者、競技役員は随時マスクを着用し、選手はレース直前までマスクを着用すること。レース前に外すマスクを収納する袋等を持参すること。
- 2 本大会は、2022 年度「全国障害者スポーツ大会競技規則」および本大会申合せ事項を適用する。
- 3 競技順序は「実施種目一覧表」の上から順番に行い、レースは女子から男子、障害区分番号の上から順に行う。
- 4 「実施種目表」①・②・③・④は、各種目 制限時間を設けて実施する。その制限時間を超えた場合は、タイムオーバーで失格とする。

「実施種目表」①・②では、泳者は歩行しても浮助具を使用しても良い。

「実施種目表」①・②・④では、介助者は声かけ・伴泳はしても良い。

ただし、泳者より前に進んだり、泳者に触れた場合は失格となる。

※プログラムの特記事項に「水介」とついている選手は水中介助者あり
- 5 「実施種目表」①のゴールは、スタートラインから 15m の位置にプールサイドの両側に設けたゴールライン（赤）を結んだライン上に達した時点で判定する。
- 6 浮助具を使用する選手のゴールタッチは、身体の一部が壁に触れたことにより判定する。
- 7 招集所は体育館内とし、招集は競技開始の 15 分前開始。5 分前終了とする。時間に遅れた場合には棄権とみなし、呼び出しは一切行わないので注意すること。
- 8 競技時間は進行の都合により変更する場合があるので、招集所の表示に注意すること。
- 9 浮助具使用の選手は、自ら持参した浮助具を使用できる。
- 10 プール施設室内温度は 31℃、水温 31℃とする。